



なす社協だより



Pick Up

11/23

那須町社会福祉協議会では福祉教育を実施しています!

田代友愛小学校の4年生のみなさんが、福祉教育の一環として、街頭募金に協力してくださいました! 事前に作成したうちわなどの資材が目を引き、多くの方々にお立ち寄りいただきました。ご協力ありがとうございました!

詳しくは、2ページをご覧ください。



那須町社会福祉協議会はこのようなことをしています。

- 地域福祉の推進
- 介護保険(ケアマネジャー・ホームヘルプ)
- 障がい福祉(ホームヘルプ)
- 障がい児者計画相談支援(利用計画作成など)
- 地域包括支援センター(高齢者総合相談など)
- ボランティアセンター
- 障がい者地域活動支援センターりんどう作業所

福祉教育を行いました！～ふだんのくらしのしあわせを考えてみよう！～

田代友愛小学校・那須高原小学校・東陽小学校・黒田原小学校



本会では町内の社会福祉法人と協力し、小学校等を対象とした福祉教育を行っています。この取り組みは、子どもたちが地域で暮らすさまざまな方への理解を深め、「みんなが安心して暮らせるまち」について考えるきっかけづくりをねらいとしています。



10月3日(木) 那須高原小学校(4年生)

多様性とその価値観を学ぶことを目的に、視野狭窄ゴーグルを用いた見えづらさ体験や高齢者疑似体験を行いました。体験の中では、日常生活での大変さを気づくとともに、「じぶんにできること」を考えることができました。



10月4日(金) 東陽小学校(5年生)

障がい者理解の一環として、点字の基本を学ぶ講座を行いました。この講座の学びをもとに、今後は地域に暮らすみんなにとって便利な福祉用具を考えていくことになりました。



10月22日(火) 黒田原小学校(4年生)

体験では、まず車いすの操作方法や声かけの仕方を学びました。その後は、障害物を置いた通路を、デコボコ道や段差のある道に見立て、使用者が安心して通行できるように練習しました。次回講座では、実際に町へ出て、車いすに乗ることで、普段の歩くときとの違いに気づく体験を行いました。

車いすだと
少しの段差でも
大変でした



10月30日(水) 田代友愛小学校(4年生)

栃木県共同募金会の協力を得て、赤い羽根共同募金の仕組みや活動方法などを学び、後日行う街頭募金で使用する資材を作成しました。

赤い羽根の募金って
支え合いの募金なんだ！



いつものところ ~だれでも参加できる居場所~



りんどう作業所では、外出機会が少ない方に対して、社会参加のきっかけづくりを目的に『いつものところ』を開催しています。

場所	ゆうゆうセンター(那須町大字寺子丙4-70)
日にち	毎月第2、4金曜日
時間	10:00~14:00(出入り自由、昼食は各自必要に応じて持参して下さい)
対象	那須町在住の方
参加料	無料
内容	参加された方が興味のある活動を行っております。 (例:手芸、木工、描写、書道、ゲーム、読書、料理、勉強等)
問合せ	りんどう作業所 72-0362(申し込みは不要です)



九尾まつり・道の駅那須高原友愛の森・道の駅東山道伊王野 赤い羽根共同募金活動を実施しました!



9月29日
九尾まつり



輪投げ募金とガチャガチャ募金を実施しました。
今年もたくさんの方が、輪投げにチャレンジしてくださいました。

10月21日
街頭募金



道の駅那須高原友愛の森、道の駅東山道伊王野にて街頭募金を行いました。朝早くから多くの方が募金に協力してくださいました。

皆様からの温かいお気持ちは、那須町の福祉のために活用されています。
ご協力ありがとうございました。



九尾まつり

39,367円

道の駅那須高原友愛の森

14,641円

道の駅東山道伊王野

9,912円

令和6年

能登半島地震 職員派遣実施報告

地震の状況

令和6年1月1日に石川県能登地方を震源とした地震により、石川県の志賀町及び輪島市で震度7を観測したほか、能登地方の広い範囲で震度6以上の揺れを観測しました。人的被害や住宅被害のほか、停電や断水といったライフラインへの影響、道路や鉄道等の交通網の分断等、大きな被害がありました。

被災された皆様、また、ご家族・関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。



派遣職員の活動

本会では上記の状況を受け、職員を派遣し、輪島市災害たすけあいセンター(災害ボランティアセンター)の運営支援に従事しました。



地域福祉係 主事 石田 充

5/22-5/28

担当した内容

輪島市輪島地区にて、各戸訪問し、災害ボランティアセンターの周知と要望・困りごとの聞き取り調査を行いました。必要に応じて、生活やお金、仕事の相談を受ける「くらしサポートセンターわじま」の案内を行いました。

感じたこと

私の派遣時期には、応急対応期と生活支援期のはざまに入り避難所から次々と出来上がる仮設住宅等に移行する過渡期でもありました。戸別訪問の際にお話を伺うと、皆さまが輪島に対するさまざまな思いを抱えておりました。その中でも、金沢市の避難所から、輪島の自宅に戻られた方が、「やっぱり輪島で最期を迎えたいんだ」と話されていたことがとても心に残りました。そのような方が安心して生活を送るための一助になりたいと改めて思いました。

那須地区地域包括支援センター長 **津田博之**

7/21-7/27

担当した内容

輪島市門前（もんぜん）地区において、災害ボランティアセンターの運営支援と被災世帯を直接訪問し、ニーズ(要望)の掘り起こしと依頼のあった作業内容の確認を行いました。

感じたこと

地震発生から半年が経過した輪島の実情は想像を超えていました。門前地区については、解体の進んでいない多くの住宅がそのまま残されており、「この半年間は何だったのか？」と僅かな憤りを感じたことを覚えています。公費解体・自費解体それぞれにメリット・デメリットがあると思いますが、早急にやるべきこと、やらなければいけないこと、他に手段・方法が無かったものかと思いました。

那須地区地域包括支援センター 看護師 **古谷直子**

8/26-8/29

担当した内容

ボランティアとともに物資の搬送や整理などを行いました。



感じたこと

輪島市社会福祉協議会の職員から話を聞くことが出来ました。

「地震直後、倒壊した建物の中に取り残された人やがれきの下敷きになった人が、口々に『助けて』と叫んでいました。私は娘と父親を連れて無我夢中で逃げました。その時の人々の声が脳裏にこびりついて今も苦しんでいます。自分たちの心のケアも必要となっています。」

社協職員にも多くの被災者がいます。今後も継続した心のケアが必要であると感じました。

わたしたちにできる 災害支援ってなんだろう？

どこかで災害が起きたときにできる被災地支援の方法は、ご自身の状況にあわせてさまざまな方法があります。お気軽に本会までご相談ください。



1 現地での災害ボランティア活動



POINT

事前に居住地の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入するとスムーズです。

2 物資支援



POINT

被災地で求められるものは日々変わるため、個人での物資支援は難しいです。行政や支援団体などの発信する情報を確認し、何が必要とされているか確認しましょう。また、送付する際には、内容や個数を記載するなど仕分けに手間がかからないよう梱包することが勧められています。

3 お金による寄付



POINT

被災者に配分される災害義援金と災害支援活動を応援する災害支援金などがあります。

各種福祉団体活動報告



那須町 シニアクラブ連合会



10月28日(月)、余笹川ふれあい公園において、約150名の参加を得て、第30回那須町シニアクラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。雨が降り、あいにくの天気となりましたが、参加者の熱気は高く、はつらつとしたプレーや笑顔で交流する姿がたくさん見られました。



▲グラウンドゴルフ大会

那須町 障害児者親の会



那須町障害児者親の会では、現在27名の会員が加入し、会員同士の繋がりを深め、障がい児者の福祉の向上を図ることを目的に活動しています。

今年度は、親子交流ポウリング、食事会、事業所見学(親睦旅行)、成年後見制度学習会等の活動を実施しました。

成年後見制度学習会では、親亡き後の子の生活を守るために、親が元気なうちに、親族や専門家と相談をする等、あらためて真剣に考えていくきっかけとなりました。



▲成年後見制度学習会

那須町遺族会



毎年、終戦記念日である8月15日に役場前の慰霊塔で戦没者追悼式を開催しています。

追悼式には、会員の他、町長や町内の中学生が参加し、戦争で亡くなられた方々に追悼の意を表しています。

来年で終戦から80年となりますが、遺族の高齢化により会員が減少傾向であることが会の課題となっています。



▲那須町戦没者追悼式

那須町 母子寡婦福祉会



今年の会員研修会は、いわき市方面へ行き、バラの花を觀賞したり、トマト狩りをしたりと、季節を感じながら会員同士の親睦を深めました。いわき市はトマトの生産に適した気候であり、一年中美味しいトマトを収穫することができます。家庭菜園とは一味違う多種のトマトをたくさん収穫し、満喫することができました。

また、体操など体を動かすことも定期的に行なっています。



▲会員研修会

会員募集

上記の各福祉団体に興味・関心のある方は、那須町社会福祉協議会事務局までご連絡ください。

那須町社会福祉協議会

電話 0287-72-5133

ご寄付・善意ありがとうございました。



黒磯那須青年会議所 様

8月

活用先

兼 義 様	地域福祉事業
草 野 勇 三 様	地域福祉事業
成沢スポーツ愛好会 様	地域福祉事業



10月

活用先

草 野 勇 三 様	地域福祉事業
伏 見 卓 様	地域福祉事業
公益社団法人 大田原法人会那須支部 様	りんどう作業所
公益社団法人 那須町シルバー人材センター 様	地域福祉事業
一般社団法人 黒磯那須青年会議所 様	地域福祉事業

9月

活用先

兼 義 様	地域福祉事業
草 野 勇 三 様	地域福祉事業
伏 見 卓 様	りんどう作業所、子ども食堂
ネクスコ東日本 エンジニアリング那須事業所 様	地域福祉事業
ライオンズクラブZC 様	地域福祉事業

ひきこもり相談



ひきこもりに関する相談に応じます。
要予約ですので、事前にご予約の上、お越しください。

- 開設日 令和7年2月18日(火)
- 開設時間 午後1時30分～午後4時30分
- 開設場所 ゆめプラザ・那須
- 応 対 者 栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター長 中野謙作 氏
- 予 約 那須町社会福祉協議会 ☎72-5133

不登校・ひきこもり者家族交流会



不登校やひきこもりについて同じような経験をされている方々の交流会を開催しています。予約不要で途中参加、退室可能です。お気軽にご参加ください。



- 開催日 令和7年1月8日(水)、2月12日(水)、3月12日(水)
- 開催時間 午後1時30分～午後3時
- 開催場所 ゆめプラザ・那須
- 問 合 せ 那須町社会福祉協議会 ☎72-5133

心配ごと相談



日常生活の心配ごとや悩みごとなどの相談に応じます。
予約の必要はありませんので、相談日にお越しください。

- 開設日 令和7年1月20日(月)、2月20日(木)、3月21日(金)
- 開設時間 午前10時～午後3時
- 開設場所 ゆめプラザ・那須
- 応 対 者 民生委員・児童委員2名
- 問 合 せ 那須町社会福祉協議会 ☎72-5133

おもいやり食料品等配布会



さまざまな事情で生活にお困りの世帯を対象に、町民の方からご寄付いただいた食料品や日用品等を下記の日程で無料配布いたしますので、お気軽にお越しください。

- 日 時 令和7年2月19日(水) 午後5時～午後7時
- 場 所 ゆめプラザ・那須
- 対 象 那須町にお住まいのさまざまな事情で生活にお困りの世帯
- 問 合 せ 那須町社会福祉協議会 ☎72-5133

令和6年度 会員会費のご協力ありがとうございます

社会福祉協議会は、地域の誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指し、住民の皆さまや関係機関等と連携しながら地域福祉を推進する民間団体です。

社協会費は、各種地域福祉活動を推進する上で貴重な財源であるとともに、住民の皆さまに会費を納めていただくことによって、地域の福祉活動に間接的に参加していただくことにもつながっています。

令和6年度実績(令和6年10月末現在)

普通会員(個人・世帯)	年会費	500円	2,350,500円	4,701戸
特別会員(施設、事業所等)	年会費	10 3,000円	66,000円	18件(内1件50)
賛助会員	年会費	10 500円	2,000円	2件(内2件20)

特別会員 ※順不同・敬称略

【50】

- 特定非営利活動法人 つなぎ

【10】

- 特定非営利活動法人 フロレンス那須
- 社会福祉法人 慈生会
マ・メゾン光星
- 社会福祉法人 イースターヴィレッジ
聖園那須老人ホーム
- 社会福祉法人 清幸会
特別養護老人ホーム なすの苑
- 社会福祉法人 清幸会
特別養護老人ホーム ゆたか苑
- 社会福祉法人 京福会
特別養護老人ホーム 寿山荘那須
- 那須興業株式会社
- 有限会社イナバ

- 那須野農業協同組合那須支店
- 和洋創作ダイニング こまつや
- 那須中央観光バス株式会社
- 株式会社ケイエムシー
- 器の店 遊クラフト
- JAなすのサービス株式会社
オートパル那須
- 手話サークル〈ほほえみ〉
- 蕎麦工房五色庵
- 那須まちづくり株式会社

(令和6年10月15日現在)

ご協力
ありがとうございます



皆様にご協力いただいた会費は、那須町の地域福祉事業等を支える貴重な財源として活用させていただきます。随時受け付けておりますので、趣旨にご賛同いただき、会員加入のご協力をよろしくお願いいたします。

